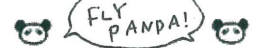


# よりそう

Side by Side



編集担当

三子・大洋り

## 『子どもたちに笑顔を！』

—東日本大震災で被災した子ども達にカステラと  
笑顔をお届けすることが、私達のミッションです—

皆さん、“ふらいパンダ”をご存知ですか？

この“ふらいパンダ”、子供の頃に一度は読んだ事がある「ぐりとぐら」の絵本に出てくるような巨大なカステラを、みんなで作っておいしく食べようというものです。

この活動は、大槌お茶っこ隊（カフェ）の隊長でもある奈良寿昭さんの立ち上げた子供向け支援活動です。

もともと東京で鍼灸師をしていた奈良さん。普段から色々なイベントを主催することが多く、30人の自衛隊の方々と警ドロをしてしまうくらいイベント好き。そんな奈良さんが、今回の震災を受けて友人と発足させたのがNPO“ふらいパンダ”です。

4月から宮城県石巻市のボランティアセンターを拠点に活動した後、ここ遠野まごころネットには6月から来て活動して下さっています。

今は大槌カフェの隊長をしながら“ふらいパンダ”を開催するというとても多忙な奈良さんですが、子供たちに笑顔とカステラをお届けするために日々頑張っています。

11/2(水)、大槌町のおさなご幼稚園で行われた“ふらいパンダ”の1日を見てみましょう。

この日は奈良さんと14名のボランティアが参加。約40人の元気いっぱいの園児たちと一緒にカステラを作りました。カステラに使うのは何と105個もの卵！小麦粉、砂糖も2kgずつ使い、牛乳、バター、ハチミツも入れながら生地作りは進みます。

☆卵を割ったことのある  
子ども初めての子ども、みんな  
ドキドキワクワク、楽しそうに  
生地作りに挑戦♪



☆生地が出来たら1つの大きなボウルに合わせ、そこから特注の巨大フライパンに投入です。(フライパンは直径90cmもあります！！)



☆外で焼いてるあいだに室内ではボランティアによる「ぐりとぐら」の絵本の読み聞かせが始まりました(^\_^)



1時間じっくり焼いたらいよいよ完成。奈良さん(通称：マリオ)の焼き上がりのチェックが終わったらいよいよ園児の前でお披露目です。ふたを開けると一斉にみんなの歓声が！周りのボランティアの顔にも自然と笑顔がこぼれます。園児も手伝って、みんなで切り分けたらちょうどお昼どき。園児、先生、ボランティアみんな一緒に「いただきます！」できたてふわふわのカステラをみんなでおおいしくいただきました。

### ＜参加ボランティアの感想＞

神奈川県 Fさん

「ふらいパンダ」で巨大カステラを作ると聞いて参加させてもらうことになってからずっと、わくわくしていました。あの大きなフライパンとフライ返しを見たときの子供達、満面の笑顔に目をキラキラさせ、私まで思わず笑顔になりました。それからみんなで手分けして105個の卵を割り、小麦粉と卵や牛乳を混ぜて、手や顔にまで生地を飛ばしながら頑張って生地をふくらませました。その生地を、あの大きなフライパンに流し込むと、子供達からは大きな歓声が。1時間後、出来あがったカステラはこんがりきつね色になり、皆と一緒に食べた出来たてのカステラはとっても美味しいものになりました。始めは引っ込み思案だった子供達も、カステラができるころにはすっかり打ち解けてくれ、最後には笑顔で「バイバーイ！」と手を振って「また来てね！」と何度も繰り返し言うてくれて、とても離れがたかったです。

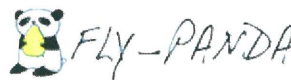
震災で辛い経験をしていても元気いっぱいの子供達にパワーをたくさんもらうことができました。また「ふらいパンダ」で、子供達の笑顔に会うために、遠野に来たいと思います。

編集後記：これまで20ヶ所以上で開催した“ふらいパンダ”ですが、奈良さんいわく3年はやり続けたいとのこと。奈良さんの今後の活躍に期待します！



11/2 参加ボランティアと幼稚園の先生方です。お疲れ様でした。

(取材：大洲)



11/5(土) 宿泊人数：80人 活動人数：250人

へお知らせ  
11/6(日)午後7時より会議室にてリネックスホールから作るキャンドルづくりをやりま  
す。11/7はキャンドルナイトです